

日露青年交流センター
2018年度日本語教師派遣事業

帰国報告書



タタールスタン共和国 カザン市
カザン連邦大学 国際関係学部
神代 寿美枝

1. 年間業務日程

| | |
|----------|------------------------------|
| 2018年8月 | 着任 |
| 2018年9月 | 前期授業開始 |
| 2018年10月 | モスクワ国際学生日本語弁論大会 |
| 2018年11月 | 国際科学会議、カザン日本語弁論大会及び日本語教師セミナー |
| 2018年12月 | 前期授業終了 前期試験開始 |
| 2019年1月 | 冬期休暇 |
| 2019年2月 | 後期授業開始 |
| 2019年4月 | 沿ヴォルガ地方日本語弁論大会、カザンワクワク縁日 |
| 2019年5月 | 後期授業終了 後期試験開始 |
| 2019年6月 | 任地離任 |

2. 赴任校の概要

| | |
|----------------|--|
| 〈大学名〉 | (日) カザン連邦大学 (露) КАЗАНСКИЙ ФЕДЕРАЛЬНЫЙ УНИВЕРСИТЕТ (英) Kazan Federal University |
| 〈学長名〉 | (日) ガフーロフ・イルシャート・ラフカトヴィッチ (露) Гафуров Ильшат Рафкатович (英) Gafurov Ilshat Rafkatovich |
| 〈学部名〉 | (日) 国際関係学部 (露) Институт международных отношений (英) Institute of international relations |
| 〈所在地〉 | (露) Россия, г.Казань, ул.Пушкина 1/55 (英) Pushkina Street 1/55, Kazan, Russia |
| 〈連絡先〉 | 電話 +7 (843) 292-51-86 |
| 〈国際部担当者〉 | (日) クリコヴァ・アンナ・ユリィエブナ (英) Kulikova Anna Jurevna 電話+7 (843) 233-74-67 |
| 〈日本語教育コース設置年〉 | 1998年 |
| 〈日本語コース責任者〉 | 学科長 (日) アリクベロヴァ・アリフィヤ・ラフィソブナ (露) Аликберова Альфия Рафисовна (英) Alikberova Alfiya Rafisovna |
| 〈日本語コースカリキュラム〉 | |

日本語コースは、国際関係学部にはいくつかの学科があり、国際関係コースは「国際関係・世界政治・外交学学科」に、日本経済コース、地域学コースは「アルタイ学中国学学科」に所属している。国際関係・日本経済・地域学コースはいずれも日本語を第1外国語として履修するコースである。また、言語を専門に学んでいる学部もある。こちらの学生は、

英語を主専攻とし第2外国語として日本語を履修するコースと他の言語を主専攻とし第3外国語として日本語を履修するコースがある。詳細なカリキュラムは特に定められていない。メインの教科書は、『みんなの日本語』で、早ければ2年間で初級を終了し、残りの2年間で初中級から中級のテキストをできるだけ進めることになっている。

〈2018年度日本語履修学生数〉は報告者が担当したクラス

| | 国際関係歴史東洋学部 | | | 言語学部 | | | | 合計 |
|----|------------|------|-----|------|------|-------|-------|-----|
| | 国際関係 | 日本経済 | 地域学 | 英語 | ドイツ語 | スペイン語 | フランス語 | |
| 1年 | | 31 | — | — | — | — | — | 31 |
| 2年 | 13 | 31 | 12 | 23 | — | — | — | 79 |
| 3年 | 14 | 33 | — | — | — | — | — | 47 |
| 4年 | — | — | — | — | 13 | 13 | 32 | 58 |
| 合計 | 27 | 95 | 12 | 23 | 13 | 13 | 32 | 215 |

※その他、一般の学習者向けに夜、開講している有料講座もある。(50人)

〈レベルと担当教員〉

| 学年 | 専攻 | レベル | 担当教員 |
|-----|------|------|--------------|
| 1年生 | 日本経済 | 初級前半 | ロシア人教師2名 |
| 2年生 | 日本経済 | 初級後半 | ロシア人教師2名、報告者 |
| | 国際関係 | 初級後半 | ロシア人教師2名、報告者 |
| | 言語学 | 初級後半 | ロシア人教師2名、報告者 |
| | 地域学 | 初級後半 | ロシア人教師1名 |
| 3年生 | 日本経済 | 初中級 | ロシア人教師4名、報告者 |
| | 国際関係 | 初中級 | ロシア人教師1名 |
| 4年生 | 言語学 | 初級前半 | ロシア人教師2名 |

〈日本語教師数〉

7名 (ロシア人教師6名、報告者1名) ※内1名は休職中で、来年度復帰する。

〈日本語履修学生の卒業後の進路〉

卒業後の進路は、一般企業への就職や大学院に進学する人が多い。卒業生の中には当大学で日本語教師をしている人、日本語教師としてプライベートレッスンをしている人、通訳の仕事をしている人がある。また2018年に現地に日系企業が設立され、そこで日本語教師として働く人、事務として運営に携わっている人もいる。

3. 赴任者の日本語教育業務

(1) 学年・年間のシラバス

< 2年生 国際関係（総合日本語） >

前期：7コマ/週（ロシア人教師：6コマ 報告者：1コマ）

後期：6-7コマ/週（ロシア人教師：5コマ 報告者：1-2コマ）

学生数：13名（初級後半）

ロシア人教師使用教材：

「みんなの日本語ⅠⅡ」、みんなの日本語副教材、「初級から中級へ日本語ドリル（文法）」

| 報告者の担当 | |
|--------|---|
| 教材 | 「BASIC KANJI BOOK Vol.1、2」「コミュニケーションのための発音指導」 自作教材 |
| 活動 | 新出漢字の導入練習、新出漢字を使って作文、語彙を説明する練習、発音練習、私の今年の漢字発表、十二支物語の紹介、年賀状作り、ロシアの祝日のプレゼンテーション |
| 評価 | 平常点 45%、クラブ活動 5%、試験・ザチョット 50%の 100 点満点。 最終 5 段階で成績が出る（86 点以上 5、71 点以上 4、56 点以上 3、55%以下 2（不合格）） |
| 所見 | 非常に学習意欲が高く、積極的なクラス。自分から発信したり、表現したりすることが好きなクラスなので、年賀状作成やプレゼンテーションなども行った。担当は漢字であったが、漢字以外のことも取り扱ってよいということだったので、学生から要望のあった発音指導を取り入れた。授業で行なったことをきっちり覚えてくるので、今後ますます日本語能力が上がるのが予想され、とても楽しみである。 |

< 2年生 日本経済①（総合日本語） >

前期：7コマ/週（ロシア人教師：6コマ 報告者：1コマ）

学生数：16名（初級後半）

ロシア人教師使用教材：

「みんなの日本語ⅠⅡ」、みんなの日本語副教材、「初級から中級へ日本語ドリル（文法）」、「初級からの日本語スピーチ」

| 報告者の担当 | |
|--------|---|
| 教材 | 「BASIC KANJI BOOK Vol.1、2」、自作教材 |
| 活動 | 新出漢字の導入練習、新出漢字を使っての作文、私の今年の漢字発表、十二支物語の紹介、年賀状作り |
| 評価 | 平常点 45%、クラブ活動 5%、試験・ザチョット 50%の 100 点満点。 最終 5 段階で成績が出る（86 点以上 5、71 点以上 4、56 点以上 3、55%以下 2（不合格）） |
| 所見 | 前期のみ担当した。ロシア人教師のクラスと共に出席率が悪く、漢字の勉強も好きではないようだった。そこで、私の今年の漢字の活動や年賀状作成などを取り入れたところ、出席が増えた。また授業には出席しないが、大学内で行うイベントや日本語コースのクラブ活動には積極的に参加する学生もおり、文化的な活動を好む学生が多かった。 |

＜ 2年生 日本経済②（総合日本語） ＞

前期：7コマ/週（ロシア人教師：6コマ 報告者：1コマ）

学生数：15名（初級）

ロシア人教師使用教材：

「みんなの日本語ⅠⅡ」、みんなの日本語副教材、「初級から中級へ日本語ドリル（文法）」、「初級からの日本語スピーチ」

| 報告者の担当 | |
|--------|---|
| 教材 | 「BASIC KANJI BOOK Vol.1、2」、自作教材 |
| 活動 | 新出漢字の導入練習、新出漢字を使っての作文、私の今年の漢字発表、十二支物語の紹介、年賀状作り |
| 評価 | 平常点45%、クラブ活動5%、試験・ザチョット50%の100点満点。 最終5段階で成績が出る（86点以上5、71点以上4、56点以上3、55%以下2（不合格）） |
| 所見 | 前期のみ担当した。まじめなクラスで、宿題もきっちりやってくる。漢字に興味があるようなので、来年度は漢字の成り立ちや意味を紹介するプレゼンテーションを学生にやってもらおうと思っている。 |

＜ 2年生 言語学①（総合日本語） ＞

後期：4コマ/週（ロシア人教師：2コマ 報告者：2コマ）

学生数：14名（初級後半）

ロシア人教師使用教材：

「みんなの日本語ⅠⅡ」、みんなの日本語副教材、「初級から中級へ日本語ドリル（文法）」、「初級からの日本語スピーチ」

| 報告者の担当 | |
|--------|---|
| 教材 | 「BASIC KANJI BOOK Vol.2」、自作教材 |
| 活動 | 新出漢字の導入練習、新出漢字を使っての作文、語彙を人に説明する練習 |
| 評価 | 平常点45%、クラブ活動5%、試験・ザチョット50%の100点満点。 最終5段階で成績が出る（86点以上5、71点以上4、56点以上3、55%以下2（不合格）） |
| 所見 | 後期のみ担当した。知的好奇心が強い学生が多く、授業も積極的。授業で小テストをやってほしい、宿題がほしいという要望が学生からあったほど、学ぶことがとても好きなクラス。 |

＜ 2年生 言語学②（総合日本語） ＞

後期：4コマ/週（ロシア人教師：2コマ 報告者：2コマ）学生数：9名（初級）

ロシア人教師使用教材：

「みんなの日本語ⅠⅡ」、みんなの日本語副教材、「初級から中級へ日本語ドリル（文法）」

「初級からの日本語スピーチ」

| 報告者の担当 | |
|--------|---|
| 教材 | 「BASIC KANJI BOOK Vol.1、2」、自作教材 |
| 活動 | 新出漢字の導入練習、新出漢字を使つての作文、語彙を人に説明する練習 |
| 評価 | 平常点 45%、クラブ活動 5%、試験・ザチョット 50%の 100 点満点。 最終 5 段階で成績が出る (86 点以上 5、71 点以上 4、56 点以上 3、55%以下 2 (不合格)) |
| 所見 | 日本語の授業は学生自身が望んで選択したわけではないためか、学習意欲が低い。質問をすると口を固く結んでしまうので、なるべく近くに行つて声をかけるようにした。打ち解けるのに時間がかかったが、笑顔で教室に入ってくる学生が増えたこと、学んだ漢字の中でも使用頻度の高い漢字の読み書きができるようになったことはよかつたと思う。 |

< 3 年生 日本経済① (総合日本語) >

前期：5 コマ/週 (ロシア人教師：4 コマ 報告者：1 コマ)

後期：6-7 コマ/週 (ロシア人教師：5 コマ 報告者：1-2 コマ)

学生数：16 名 (初級)

ロシア人教師使用教材：

「みんなの日本語 II」、みんなの日本語副教材、「初級から中級へ日本語ドリル (文法)」

「アカデミックプレゼンテーション」「みんなの日本語中級」「中級へ行こう」「NEWS WEB EASY」

「日本語総まとめ N3 語彙」「An integrated approach to Intermediate Japanese 中級の日本語」

「ドリル&ドリル 日本語能力試験 聴解」

| 報告者の担当 | |
|--------|---|
| 教材 | 「BASIC KANJI BOOK Vol.2」、WEB サイト「ひろがる」、自作教材、そのほか「まるごと初中級」「できる日本語初中級」「みんなの日本語中級」など会話練習に合わせて使用した。 |
| 活動 | 新出漢字の導入練習、新出漢字を使つての作文、語彙を人に説明する練習、私の今年の漢字発表、ペアワークによる会話練習、ストーリーテリング、日本人留学生との会話練習、ビブリオバトル |
| 評価 | 平常点 45%、クラブ活動 5%、試験・ザチョット 50%の 100 点満点。 最終 5 段階で成績が出る (86 点以上 5、71 点以上 4、56 点以上 3、55%以下 2 (不合格)) |
| 所見 | 留学経験者も多いため、レベル差が大きい。留学経験者の学生がすぐ答えてしまうので、ほかの学生が自信を無くし、答えづらくなるという問題があつた。前期ロシア人教師の進行に合わせて、教科書を使った会話練習を行なつたが、後期は発話に自信をつけさせるために、新しい表現を教えるというよりは、自分の言いたいことを言えるようになることを目標として行つた。ペアやグループ活動を増やし、学生の興味を引けるようなトピックを選ぶようにした。後期の試験では自分の言いたいことが伝えられるようになっていた。 |

＜ 3年生 日本経済②（総合日本語） ＞

前期：4コマ/週（ロシア人教師：3コマ 報告者：1コマ）

後期：7-8コマ/週（ロシア人教師：6コマ 報告者：1-2コマ）

学生数：17名（初級）

ロシア人教師使用教材：

「みんなの日本語Ⅱ」、みんなの日本語副教材、「初級から中級へ日本語ドリル（文法）」

「初級からの日本語スピーチ」「中級へ行こう」「NEWS WEB EASY」「日本語総まとめ N3 語彙」

「An integrated approach to Intermediate Japanese 中級の日本語」「ドリル&ドリル 日本語能力試験 聴解」

| 報告者の担当 | |
|--------|--|
| 教材 | 「BASIC KANJI BOOK Vol.2」、日本語総まとめN3」、WEB サイト「ひろがる」、自作教材、そのほか「まるごと初中級」「できる日本語初中級」など会話練習に合わせて使用した。 |
| 活動 | 新出漢字の導入練習、新出漢字を使っての作文、語彙を人に説明する練習、私の今年の漢字発表、ペアワークによる会話練習、ストーリーテリング、日本人留学生との会話練習、ビブリオバトル |
| 評価 | 平常点 45%、クラブ活動 5%、試験・ザチョット 50%の 100 点満点。 最終 5 段階で成績が出る（86 点以上 5、71 点以上 4、56 点以上 3、55%以下 2（不合格） |
| 所見 | 授業中の発言も多く、積極的な学生が多い。カザン日本語弁論大会では 5 名が、沿ヴォルガ地方日本語弁論大会では 2 名が出場した。その他、イベントや日本人の街案内なども喜んで引き受けてくれる。学期最後の授業ではビブリオバトルを行ない、自分の好きな本のプレゼンテーションをしたが、今まで授業中あまり参加してこなかった学生がとても積極的に楽しそうに活動に取り組んでいたのは印象的だった。 |

(2) 個人指導

- ①第 9 回カザン日本語弁論大会出場者の原稿作成指導。出場学生のスピーチ指導。
- ②第 12 回沿ヴォルガ地方日本語弁論大会出場学生 3 名の原稿指導・スピーチ指導。
- ③メディアクラブの日本語チェック（VK のページにアップするための記事の日本語をチェックした）

(3) 課外活動

- ①第 9 回カザン日本語弁論大会の企画・運営（2018 年 11 月）
今年度は、一般の応募はなく、カザン連邦大学の学生のみ 10 名が出場した。
一弁論大会に関わる主な業務
 - ・関係者打ち合わせ
 - ・出場学生の原稿指導、添削、スピーチ指導
 - ・質問作成、審査員用の書類作成、審査員、質問員（日本人）の依頼、連絡

- ・賞品の準備
- ・司会者原稿（日本語）作成、・司会者オーディション実施、司会者練習

ーご協力いただいた方々

審査員として、国際交流基金モスクワ暫定事務所の黒岩幸子先生、ウラル連邦大学の丸島暁先生、モスクワ市立教育大学の政美南先生、留学生で三井物産株式会社の押尾太一さんにお越しいただいた。また、質問員として、留学生の山下哲平さんにご協力いただいた。カザンや他地域の各企業様からスポンサーとしてご協力いただいた。

②サンクトペテルブルグ日本語弁論大会原稿審査協力（2019年4月）

③第12回沿ヴォルガ地方日本語弁論大会参加（2019年4月）

3名の学生が出場し、初級部門で2位と3位になった。報告者は質問作成と質問員をした。

(4) 反省点と今後の展望

①授業について

これまでの教師経験では決められたカリキュラムの中でいかに授業内に決められた文型を導入し、練習するかというものだった。自由にチャレンジできる環境で経験が積めると喜んでいて、いざ自由に授業を任せられるとどうしたらよいかと戸惑い、前期は結局指定された教科書に沿った授業を行なうことになった。いかに自分が型にはまった教え方をしており、バリエーションが少ないかということを感じた。また、これまでのやり方を変えるのは自分の中で勇気があることなのだと思います。前期後半からはロシア人教師と相談をし、学生の興味やクラスの雰囲気などを考えながら様々な活動を取り入れたことで学生の表情がいきいきとしたものになっていくのが分かった。今後もロシア人教師とアイデアを出し合いながら授業の質を高められるように努めていきたい。

②日本語コース

前期は日本語教師のミーティングがなく、情報共有もされなかったため、非常に戸惑った。ロシア人教師も自分の仕事で手一杯で、戸惑っていたのはロシア人教師も同じであったと思う。後期は日本で研修を受けていたロシア人教師が戻ってきたことで、リーダーシップをとってくれ、教師ミーティングが開催できるようになった。来年度からは日本語専攻の学部ができる予定で、授業数も多くなるが、教師同士の連携を大事に、取り組んでいきたい。

③ウェブ関連

日本語コースのページをフコンタクチェとフェイスブックに持っており、フェイスブックについては前任者から引き継いだ。思うように更新ができなかった。理由は様々あるが、来年度からは報告者やロシア人教師だけの発信ではなく、メディアクラブの学生にお願いすることを提案しようと思う。

④カザン日本語弁論大会

出場者の原稿はロシア人教師がチェックした後、報告者が最終チェックすることになっていたが、ロシア人教師を通して内容が分からないことも多く、大変に苦労した。教師ミーティングでもスピーチ原稿について話し合ったが「どうやって書いたらいいのか、どうやって指導すればいいのか分からない」という話が出た。そこで、スピーチの書き方を添えて

出場者の募集をすることにした。昨年国際交流基金の黒岩先生にもマインドマップを使ったスピーチの書き方を紹介していただいたので、教師一同、もう一度確認し、取り組むことにした。

⑤教師研修

現在6名のロシア人教師がいるが、教師経験が浅く、教え方もバラバラである。そのため、互いの教え方を共有したり、教え方を勉強したりする教師研修を行っている。誰かが中心になって行うというよりは、みんなで話し合うスタイルで行う。

第一回目は要望のあった「作文の書き方、添削の仕方」を開催した。(参考：日本語教師の7つ道具シリーズ3 作文授業の作り方編) 作文の書き方や添削のポイントを話し合い、実際にみんなで作文添削を試みたが、間違いが分からないという声が上がった。今後は基本的にみんなの日本語の各課の句型を取り上げ勉強会の開催する予定だが、同時に教師の日本語能力を向上させられるような工夫が必要だと思った。また、研修の中で、それぞれの教師の授業のやり方や意見を聞いたが、いかに報告者自身が型にはまった考え方をしているかということに改めて思い知らされた。ロシア人教師は非常に考え方が柔軟で、授業研究もよくしている。この研修会がお互いにより刺激になり、授業に生かせるように今後も続けて行きたい。

4. その他の業務

- ・学生有志で作られた「日本語クラブ」に参加
- ・各イベントでボランティアをしてくれた学生のためのパーティーを開催。感謝状を贈った。
(12月開催)
- ・11月に行われた国際科学会議の際、在ロシア日本国大使館の高橋正和様と学部長、学科長との面談に同席した。
- ・教師研修の開催(6月に2回開催。今後も定期的に続けていく)

5. 青年交流

(1) 日本語教室での活動

| 日時 | 実施事項 | 内容 | 参加者 |
|----------|---------------------------------------|--|------|
| 2018年9月 | ようこそパーティー | 新入生の歓迎会 | 約30名 |
| 2018年12月 | クリスマスパーティー | 漢字ビンゴなどを行なった | 約30名 |
| 2019年2月 | 第1回ワークショップ 書道 | 筆の基本的な使い方の練習をし、筆に慣れた後、自由に好きな字を書いてもらった。 | 約20名 |
| 2019年3月 | 第2回ワークショップ 日本の昔話 「浦島太郎」「花咲か爺さん」 | ストーリーテリングの活動を使って、内容を予想したり、花咲か爺さんを見た後、折り紙で桜を作ったりした。 | 約20名 |

| | | | |
|---------|---|---|-------|
| 2019年3月 | 第3回ワークショップ 関西弁を使ってみよう！ | 基本的な関西弁の言葉を教えて、 会話練習を行なった。最後は関西 弁の歌を歌った。 | 約30名 |
| 2019年4月 | カザンワクワク縁日 (第4回ワークショップ 日本のお菓子を作ってみよ う！) | 日本語コースの学生が1年の学習 のまとめとして日本文化や習慣を 地域の方に紹介するイベント。 講師を招いて「まんがの書き方講 座」「尺八体験」も開催。 報告者は「ういろう」の作り方を 紹介した。 | 約100名 |
| 2019年5月 | 第5回ワークショップ 四字熟語かるたで遊ぼう！ | 四字熟語かるたを使って、四字熟 語を学びながらゲームをした。 | 約20名 |

(2) その他の青年交流

- ・2018年9月 小学校を訪問し、当大学の学生と一緒に日本語のあいさつやひらがなを教えた。
- ・2018年11月 大学主催のイベント「科学の夜」で茶道と折り紙を紹介した。
- ・2018年12月 JIC 国際親善交流センター（大阪）様にご協力いただき、ロシア語受講者の皆様と年賀状の交換をさせていただいた。
- ・2019年6月 夜間社会人 IT コースで特別授業として関西弁講座を行なった。
- ・2019年6月 日露青年交流センター実施プログラム「大分・タタールスタン剣道交流」の合同練習を学生と一緒に見学した。

6. 任地の生活事情

(1) 電気・水・温水の供給状況

夏休みなどの長い休み明けは水が出ない、水が出てもお湯が出ない、赤水が出るがあった。しかし、基本的には電気・水・温水は安定して供給されている。

(2) 生活必需品

寮のすぐ近くにショッピングモールやスーパーがあり、生活必需品はすぐ購入できる。

(3) 衣・食・住

衣：冬はマイナス 20 度まで下がるため、その気温に耐えられるコートや靴が必要。ただし、外は寒くても、建物の中は暖房がきいており、とても暖かいので、ヒートテックのような肌着を着こむと汗ばむ時がある。中に着込むより、温度調節できるような服装のほうが便利である。

食：寮の部屋に簡易キッチンがあるので、自炊ができる。また、大学は街の中心地にあるため、周辺には食堂やカフェ、レストランなどが多数ある。醤油やお酢、お味噌、そば、うどんなど手に入るが割高。

住：寮は、市内の中心からバスで 30 分程のところにある。建物は外国人教師ゲストハウス

である。1人部屋で、トイレ・バス・キッチンがある。部屋はきれいで、ベッド、机、クローゼット、本棚、テレビなどがある。洗濯は、受付で洗濯したい旨を申し出て、各階にある洗濯機を使う。暖房が完備されているので、寒さは問題ない。寮への出入りはゲートで仕切られており、関係者だけが出入りできるため、安全面も特に心配はない。

(4) 交通の便

大学は街の中心にあり、寮からはバスと徒歩で40分程かかる。市内の移動はバス・地下鉄・トロリーバス・路面電車などを使う。運賃は一律27ルーブル。空港は郊外にあり、寮からタクシーで20～30分かかる。寮から空港まではタクシーアプリを使えば運賃は400ルーブル程度で、空港のタクシーカウンターを使うと800ルーブル程度かかる。

(5) 治安状況

特に治安が悪いと感じたことはないが、なるべく夜の外出は避けたり、人通りのある道を選んで歩くようにしたりしている。野良犬が多く今まで危害を加えられたことはないが注意が必要。

7. 終わりに

カザン連邦大学は毎年学生が増えており、来年度からは日本語専攻のコースもできる。また、12月には初めてJLPT実施会場として日本語能力試験が行われる予定だ。大学内で多くの合格者が出ると予想している。これにより、大学のみならず、カザンの日本語教育環境もさらに大きく変化すると思う。そのような転換期に来年度も派遣していただくことになり、身の引き締まる思いだ。任地のニーズに応えられるよう、より一層努力したい。

この10か月はとにかく目まぐるしかったが、慣れない環境の中で自身の励みとなったのは現地日本語教師や日露青年交流センターの皆様のサポート、そして派遣教師との横のつながりであった。大変に感謝している。また活動を支え、協力してくださった国際交流基金モスクワ暫定事務所をはじめとするすべての皆様に深く感謝申し上げたい。

